

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第2号を下記のとおり発表したの送付します。

平成23年度病虫害発生予報第2号

平成23年 4月28日
岡 山 県

予報概評

| 作物名 | 病虫害名 | 発生時期 | 発生量 | 作物名 | 病虫害名 | 発生時期 | 発生量 | |
|------------|--------------------|------|-----|-------------|------------------|--------------|-------|-----|
| 水稲 | 苗立枯れ(もみ枯細菌病による苗腐敗) | — | やや少 | モモ | ナシヒメシクイ カメムシ類 | 早並 | 少少 | |
| | ヒメトビウンカ | — | 少 | | ブドウ | 灰色かび病 べと病 | 遅遅 | 並並 |
| | 縞葉枯病 | — | 並 | キュウリ等 | | 灰色かび病 | — | やや多 |
| | ツマグロヨコバイ | — | 少 | | | イチゴ | うどんこ病 | — |
| | 萎縮病 | — | 並 | タマネギ | べと病 | | — | 並 |
| イネミズゾウムシ | イネミズゾウムシ | 並 | 並 | ナス等 | ミナミキイロアザ ミウマ | — | 並 | |
| | アブラムシ類 | — | 少 | アブラナ科 野菜 | アブラムシ類 | — | やや少 | |
| ヤノハモグリバエ | — | 少 | 野 菜 | | コナガ | — | やや少 | |
| ジャガイモ | 疫病 | 並 | 並 | キク | アブラムシ類 | — | やや少 | |
| モモ | 灰星病 | 遅 | やや少 | | | | | |
| | 黒星病 | 遅 | 並 | | | | | |
| | せん孔細菌病 | 遅 | やや少 | | | | | |
| | 褐さび病 | 遅 | 並 | | | | | |
| | モモハモグリガ | 並 | 少 | | | | | |
| ウメシロカイガラムシ | 並 | 並 | | | | | | |

防除上の参考事項

ア. 被害はオオムギで多く、コムギで少ない。多発地帯では水田裏作として、コムギに転換する。

(ジャガイモ)

(1) 疫病

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. 4月20～21日の巡回調査では発生は認めていない。

イ. ジャガイモの生育は平年並みである。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

2. 果 樹

(モ モ)

(1) 灰星病

予報内容

発生時期 遅 発生量 やや少

予報の根拠

ア. 県予察圃場における花腐れはまだ確認されておらず、平年(4月19日)より遅い。

イ. 4月22日の巡回調査(南部)では、花腐れの発生圃場率は0%で平年(21.7%)より少なかった。しかし、全県的に低温傾向により開花が遅れたことから、北部、中部では今後発病が増加する可能性がある。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(2) 黒星病

予報内容

発生時期 遅 発生量 並

予報の根拠

ア. モモの生育は平年より遅めで推移している。

イ. 4月22日の巡回調査(越冬病斑調査)では、発生量は平年並であった。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(3) せん孔細菌病

予報内容

発生時期 遅 発生量 やや少

予報の根拠

ア. モモの生育は平年より遅めで推移している。

イ. 前年の発生量は平年より少なかったことから、伝染源の越冬量も平年より少ないと考えられる。

(4) 褐さび病

予報内容

発生時期 遅 発生量 並

予報の根拠

ア. モモの生育は平年より遅めで推移している。

イ. 前年の発生量は平年並であったため、伝染源の越冬量も平年並と考えられる。

(5) モモハモグリガ(第1世代成虫)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 県予察圃場のフェロモントラップによると、4月1～5半旬までの誘殺数は3頭で平年(8.2頭)より少なかった。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並とされている。

(6) ウメシロカイガラムシ

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. 越冬世代成虫の50%抱卵日は4月23日と推定され、平年(4月21日)並であった。なお、予測式から幼虫ふ化最盛日(防除適期)は5月8日頃と予測される。

イ. 越冬雌成虫の生存率は86.0%で平年(90.4%)並であった。

(7) ナシヒメシクイ

予報内容

発生時期 早 発生量 少

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップによると、誘殺最盛日は4月6日であり、平年(4月13日)より早かった。

イ. 4月1～5半旬の誘殺数は12頭で平年(57.1頭)より少なかった。

(8) カメムシ類

予報内容

発生時期 並 発生量 少

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯ではチャバネアオカメムシの飛来が認められていないが、4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並とされており、発生時期は平年並と予想される。

イ. 前年のスギ・ヒノキ花粉飛散数を利用した予測式によると、本年4～7月の予察灯への飛来数は、チャバネアオカメムシは赤磐市で1頭未満(平年483.7頭)、津山市で21.8頭(平年327.5頭)、クサギカメムシは赤磐市で5頭(平年16.6頭)、津山市で97.5頭(平年198.0頭)であり、ともに平年より少ない。

(ブドウ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発生時期 遅 発生量 並

予報の根拠

ア. ブドウの生育は平年より遅めで推移している。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(2) ベと病

予報内容

発生時期 遅 発生量 並

予報の根拠

ア. ブドウの生育は平年より遅めで推移している。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

3. 野 菜

(キュウリ、ナス、トマト、イチゴ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発 生 量 やや多

予報の根拠

ア. 4月20～21日の巡回調査によると、イチゴでは発生圃場率が20.0%で
 平年(10.5%)より高く、トマトでは発生圃場率が50.0%で平年(31.3
 %)よりやや高かった。キュウリ、ナスでは発生を認めなかった(0%)。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水
 量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(イチゴ)

(1) うどんこ病

予報内容

発 生 量 やや多

予報の根拠

ア. 4月20～21日の巡回調査によると、発生圃場率は10.0%で平年(13.6
 %)並であった。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水
 量は平年並か少ないとされており、発病をやや助長する条件である。

(タマネギ)

(1) ベと病

予報内容

発 生 量 並

予報の根拠

ア. 4月20～21日の巡回調査によると、一般圃場の発生圃場率は40.0%で
 平年(42.2%)並であった。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水
 量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(ナス、キュウリ)

(1) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発 生 量 並

予報の根拠

ア. 4月20～21日の巡回調査によると、キュウリ、ナスでの発生量は平年
 並であった。

イ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水
 量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

(アブラナ科野菜)

(1) アブラムシ類

予報内容

発 生 量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～5半旬までの黄色水盤への飛来数は、58頭で
 平年(202.2頭)より少なかった。

イ. 4月20～21日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水
 量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

(2) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～5半旬のフェロモントラップの誘殺数は、1頭で平年(45.1頭)より少なかった。

イ. 4月20～21日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

4. 花き類

(キ ク)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～5半旬までの黄色水盤への飛来数は、58頭で平年(202.2頭)より少なかった。

イ. 4月20～21日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。

ウ. 4月22日の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病虫害防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

なお、これまでご活用いただいていたテレホンサービスは、平成22年度をもって終了いたしました。これまで、永きにわたり、多くのご利用を頂きありがとうございました。病虫害発生予察情報は、引き続き、上記岡山県病虫害防除所ホームページをご利用ください。